

◇看護学研究科(博士後期課程) 主要科目の特長

科目	特長
看護学研究方法特別講義	看護学研究に関する諸理論を概観し、グローバルな社会に対応する看護学研究の動向や課題を検討し、自己の研究の方向性を探求する。独創的な研究課題に応じて研究方法を選択し、研究計画書の作成、実施、論文作成という研究プロセスについて教授する。
応用統計学特別講義	基本的検定手法であるt検定、分散分析、順位和検定、多重比較・反復測定データ解析方法について学修する。多変量解析のための統計モデルの基本として、重回帰モデル、ロジスティック回帰モデル、因子分析・主成分分析、構造方程式モデリングの理論、質問紙調査におけるデータ収集と測定方法、尺度開発方法についても教授する。
保健医療福祉政策特別講義	保健医療福祉政策の歴史的背景及び財政医療供給体制の課題を踏まえ、諸外国と我が国の保健医療福祉政策の実情、保健医療福祉関係者と連携して課題解決に向けた取組みをする必要性を理解した上で、地域包括ケアシステムの構築方法、今後のケアサービスの展望について議論、考究し、提言する。
エンドオブライフケア 看護学特別講義	看護学周辺の学問領域で得られた知見と多くの研究文献を基盤に、修得したことを各自の研究課題に反映させることを目的とする。授業は、先ずエンドオブライフケア看護学の研究動向を理解し、わが国の課題を認識した後、臨床的現状を反映したエンドオブライフケア看護学の理論開発のプロセス、エンドオブライフケアの評価指標としての尺度開発のプロセス、病の軌跡4パターンのエンドオブライフの明確化とそれを反映したエンドオブライフケアのプロセス、ケア介入や教育介入のプログラム開発とその検証のプロセスなどを主な内容とする。
エンドオブライフケア 看護学特別講義演習	エンドオブライフケア看護学領域の理論・モデルの構築を前提とした、エンドオブライフケアに関する理論開発、ケア評価の測定尺度開発、教育プログラム開発とその検証、ケア介入や教育介入研究を目的としたシステマティックレビューと概念分析について考究し、修得したことを各自の研究課題の遂行に反映させることを目的とする。
生涯発達看護学特別講義	生涯発達を踏まえオムニバス方式で成人・老年看護学、小児・母性看護学および医学領域を含めた生涯発達看護学として講義を行う。成人・老年看護学では救急医療から集中治療、在宅療養者のQOL評価における看護援助の実態と研究動向について理解する。小児看護学では障害児童、幼児への保育および家族看護の海外と日本の現状、医学領域では、中高年者を対象とした生活習慣病予防に関する研究動向、在宅療養者および高齢者への運動負荷による生理学的、生化学的効果、運動選手への医学的支援の現状を理解し、独創的な研究課題を焦点化する。
生涯発達看護学 特別講義演習	本演習では、オムニバス方式で成人・老年看護学、小児・母性看護学および医学領域を含めた生涯発達看護学として、生涯発達看護学特別講義で検討した研究課題を踏まえ、これらの課題解決の調査方法や介入的援助法の議論や実践を行う。そして、研究課題に対する介入的援助法を立案するためのプログラムを作成し、手順やプログラム立案能力を高めてゆく。成人・老年看護学、小児・母性看護学および医学領域で立案した各プログラムの問題点などを議論し、介入研究を進めてゆくための計画を発表し評価する。

◇看護学研究科(博士後期課程) 主要科目の特長

科目	特長
在宅看護学特別講義	高度化する在宅医療を支える看護職の現状と包括的な課題を多角的に探究し、日常生活ケアについて科学的方法を用いて検討する。在宅療養者及び家族が自律した生活を送るための社会資源を活用した退院支援や在宅看護の質の向上へのプログラム開発などについて教授する。
在宅看護学特別講義演習	在宅看護学領域における国内外の文献クリティークを行い、生活健康課題を多角的に分析し、明確化させ、保健医療福祉制度、多職種・多機関との連携、退院支援、シームレスケア、ケアシステムのプログラム開発、家族支援について、討議、考究し、提言する。
地域看護学特別講義	様々な分野の複合的かつ広域的な視点から個人及び家族、特定集団、地域を対象とした深い洞察と分析方法を理解し、地域看護の課題や研究に取り組むための知識・理論・モデルを活用し、QOL及びQODDの向上に向けた地域包括ケアシステムの構築や、ソーシャルキャピタルの醸成について探求する。
地域看護学特別講義演習	様々な分野の複合的かつ広域的な視点から、諸外国の制度、サービス提供システム、地域における高度看護専門職者の役割を分析し、健康に影響する要因と因果関係や、健康阻害要因を検証し、健康実態把握と健康問題解決のための方法論や保健事業活動、地域資源を活用した高度看護専門職者の役割と可能性について、議論、考究し、提案する。
特別研究D	グローバルな視点から自立して研究を進めていく能力、高度看護専門職者として、研究及び実践の展開に必要な独創性や創造性を培い、累積した先行研究を活用し、研究計画を立案、研究活動を展開し、看護学の発展に寄与する論文を作成する。